

私の本棚 2016.07月～

BOOK LIST

本棚のテーマは「怪談」



今回の本棚は、怪談についての本を集めてみました。暑い夏にピッタリのテーマですね！
思わずゾッとしてしまう本を読んで涼しくなりましょう。

「怖い話が大好き！」「怖いものはちょっと苦手…」という金城生のために、
本格的な怪談からほのぼのとするおばけの話など、多数の分野から本を集めました。
ぜひ手にとって見てくださいね！

	書名	著者名	出版者
1	耳囊	根岸鎮衛/著	岩波書店
2	鬼太郎夜話	水木しげる/著	筑摩書房
3	心霊写真は語る	一柳廣孝/編著	青弓社
4	夏と花火と私の死体	乙一/著	集英社
5	柳田國男集	柳田國男/著	筑摩書房
6	ろくろっぴ	せなけいこ/[著]	童心社
7	小川洋子	小川洋子/著	文藝春秋
8	きつねのはなし	森見登美彦/著	新潮社
9	おそろし	宮部みゆき/著	角川書店
10	巷説百物語	京極夏彦/著	中央公論新社
11	怖い絵	中野京子/著	朝日出版社
12	もののけ本所深川事件帖オサキ江戸へ	高橋由太/著	宝島社
13	妖怪アパートの幽雅な日常	香月日輪/[著]	講談社
14	江戸奇談怪談集	須永朝彦/編訳	筑摩書房
15	大人もぞっとする初版『グリム童話』	由良弥生/著	三笠書房
16	夜市	恒川光太郎/[著]	角川書店
17	骨董・怪談	小泉八雲/著	河出書房新社
18	おばけなんてないさ	せなけいこ/絵	ポプラ社
19	押入れのちよ	荻原浩/著	新潮社
20	幽霊塔	江戸川乱歩/著	岩波書店

オススメ BOOK

- ・『きつねのはなし』

普段のユーモラスな作風が魅力的な森見登美彦さんとは一味違った、不思議な怪談短編集です。

京の都に潜むもののけたちの妖しい姿をご覧ください。

- ・『怖い絵』

有名なあの絵画に隠された本当の意味は！？

読めば読むほど美術鑑賞が楽しくなる本です。

続編『怖い絵2』『怖い絵3』もお楽しみください。

- ・『鬼太郎夜話』

漫画雑誌『ガロ』に掲載されたバージョンの「鬼太郎」

です。のんびりと昭和の時代を生き延びる鬼太郎たちと、

恐ろしい妖怪の姿のギャップが面白いです。

- ・『柳田國男集』

「民俗学の父」柳田國男の著書をまとめました。

遠野の山、そこに住む人々の信仰や恐怖がりのままにまとめられています。

民俗学に興味のある方はぜひ！

- ・『大人もぞっとする初版『グリム童話』』

皆が知っているグリム童話が、実は恐ろしかったり血生臭かったりするの有名な話。

この本で「みんなが知るグリム童話」と「本当のグリム童話」を比べてみましょう。

おわりに



怖いと分かっているもつつい見してしまう怪談。

それは昔から受け継がれてきた「人の心」そのものです。

怖さがダイレクトに伝わる映画もいいですが、

今年の夏はじわりじわりと怖さが伝わってくる本の魅力を楽しみましょう♪（まみ）

